

「出水期」とは...?

6月から10月までの集中豪雨や台風などで川が増水しやすい時期を「出水期」といいます。日頃から、「もしも」に備えて避難方法、家庭での備蓄、災害時の情報収集などについて改めて確認しておきましょう！



『出水期』に備えを！

⚠️ 危険箇所の確認をする

洪水ハザードマップを事前に確認
洪水ハザードマップとは、大雨によって河川が氾濫した場合に浸水する範囲や深さ、浸水が継続する時間、家屋倒壊などが予測される範囲などを掲載したものです。
河川の氾濫による浸水想定区域を把握するとともに、ご自宅の階数やハザードマップの浸水深を考慮して、避難場所、避難経路などを決めておきましょう。



⚠️ 情報を集める

雨が降り始めたら警戒情報に注意

テレビなどで気象情報が発表されていないか注意しましょう。また、減災アプリや吉川市メール配信サービスに登録すること、市からの災害情報や緊急のお知らせなどを早く知ることができます。

🏠 各家庭で備える

土のう置き場について

台風の襲来などにより、土地、建物などに浸水が予測される場合には、前もって土のうを積んでおくことで、被害を軽減できます。



土のう置き場

市では、自由に土のうを取り出せる「土のう置き場」を設置しています。浸水に備え、各自でお持ちください。

土のう置き場 市ホームページ 	吉川市メール 配信サービス 	防災情報 ツイッター
NHK、テレビ埼玉 のデータ放送 	防災行政無線 電話応答サービス (放送内容の 聞き直し) ☎983・6430	

減災アプリ『吉川減災ナビ』をリリースしました

防災行政無線の放送内容や、緊急時の避難情報など、防災、減災に関する情報を発信します。
また、被害を軽減するため、ハザードマップなど、日頃から知っておきたい情報を掲載しています。
アプリのインストールは、下記QRコードを読み取るか、AppStoreまたはGooglePlayストアで「吉川減災ナビ」と検索してください。



iOS用



Android用



アプリアイコン

避難情報について

災害時に自治体や気象庁から発令される避難情報は、5段階の警戒レベルに分けられ、それぞれ住民が取るべき行動を表しています。警戒レベル4の「避難指示」までにすべての方が危険な場所から避難する必要があります。どの段階でどのような避難行動を取るか、家族や地域の方と事前に話し合っておきましょう。

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保
警戒レベル4までに必ず避難			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 (気象庁)